

H19 年度第 2 回 技術開発推進専門部会 / #5 EDP 事前打ち合わせ

日時：2007 年 7 月 4 日（水）PM13：30～17：30

場所：海洋研究開発機構 東京事務所 大会議室

出席（敬称略）

専門部会長：木下正高（海洋研究開発機構）

専門部会委員：市川祐一郎（日本海洋掘削株式会社）伊藤高敏（東北大学）
唐澤廣和（産業技術総合研究所）許正憲（海洋研究開発機構）
福井 学（北海道大学）

E D P委員：鈴木英之（東京大学）武村貢（石油資源開発株式会社）
中田晴弥（地熱技術開発株式会社）福原政文（Schlumberger Moscow Research）
宮入誠（石油資源開発株式会社）田村満夫（*1 ジャパン石油開発株式会社）

*1 兼 専門部会委員予定

オブザーバー：佐久間澄夫（地熱エンジニアリング株式会社）
松岡 洋（日本海洋掘削株式会社）

C D E X：伊藤久男

事務局：山田 泰 梅津慶太

欠席（敬称略）

専門部会委員：荒戸裕之（帝国石油株式会社）遠藤立樹（シュルンベルジェ株式会社）
佐野 修（東京大学地震研究所）篠原雅尚（東京大学地震研究所）
*手塚和彦（石油資源開発株式会社）

*2 兼 EDP 委員

EDP Alternate：渡辺喜保（東海大学）

議事次第

【報告事項】

1. EDP の準備状況[AESTO]
2. 新 EDP 委員の紹介[AESTO]
3. CDEX 技術開発 進捗状況報告[許委員]

【審議事項】

1. 前回(#1_070409)議事録_事務局案 [事務局]
2. 新部会委員の紹介と承認伺い[木下部会長 / 事務局]
3. EDP での審議事項
 - ・ Technology Roadmap
 - ・ FY09 Eng. Dev. Proposals
4. CDEX 技術開発レビュー委員会の体制[木下部会長]

配布資料

- 資料 2-1 EDP ローテーション案
- 資料 2-2 H19#1_070409 議事録（事務局案）確認
- 資料 2-3 技術開発推進専門部会メンバー（案）
- 資料 2-4 #5 EDP Agenda
- 資料 2-5 EDP Technology Roadmap

議事録（案）

【報告事項】

1. EDP の準備状況[AESTO]

事務局より標記の件について説明がなされた。

2. 新 EDP 委員の紹介[AESTO]

新EDP委員（田村満夫委員、宮入 誠委員：石油資源開発、浅沼 宏委員：東北大学）が紹介された。

3. CDEX 技術開発 進捗状況報告[許委員]

許委員より、標記の件について報告がなされた。

【審議事項】

1. 前回(#1_070409)議事録_事務局案 [事務局]

会議終了まで特に異論は無く、承認された。

2. 新部会委員の紹介と承認伺い[木下部会長／事務局]

新専門部会委員 3 名（佐久間澄夫委員：地熱エンジニアリング、松岡 洋委員：日本海洋掘削、田村満夫委員：ジャパン石油、渡辺喜保：東海大学）が承認された（報告事項参照）。

3. EDP での審議事項

- Technology Roadmap
- FY09 Eng. Dev. Proposals

標記の件について、下記の事項が合意された。

- EDP会議のAgendaについて塚本委員（EDPホスト）経由でEDP chairに変更を前もって要請し、Agenda承認の際に変更してもらう。主な変更内容は以下の通り。
- Operator ReportでのCDEXの持ち時間を5分から1時間にしてもらうよう、要請する。
- 議事次第の変更を要請する（Operator Reportを13番目から8番目(STP reportの次)へ）。
- ED proposalについて、IOとしてCDEXは概略を知らせてほしいという提案を行う。
- Technology Roadmapについて、日本として今後必要になるであろうED projectをトップ10に選出する。
- JAMSTECとしてTech. Roadmapトップ10へのリストアップを希望するのは以下の通り（木下部会長メモ資料より）

C-1 High temperature（これについてはケーブルやコネクタも対象としてほしい）

C-5, 6 wellhead reliableも大切だが、簡便でHSEが満足できるものの開発も大切。

C-14 reliable system 具体的に(何かキーとなる開発項目か？設置方法の確立、セメントなど)

新規 Behind-casing technology for monitoring at multiple intervals in a single hole

4. CDEX 技術開発レビュー委員会の体制[木下部会長]

FY09ED proposal に向けて、科学計測部会と連携を強化し、Science として必要な技術について今後戦略的に検討を行っていき、J-DESC を通じて ED proposal の仕組みを含めさらに周知を促す。